

## 地産木材を木造ビルに活用する 京都の事例を全国の工務店に発信

京都府内で事例を重ねている、地域産木材を木造ビルに活用しているノウハウを全国の工務店に発信。株式会社リヴ(京都府向日市)は「地産木造ビル推進本舗」という、全国の工務店を元気にする為のサービスを始め、全国各地の工務店への支援を2月中旬よりスタートさせました。

京都をはじめとして、国内では戦後に植林された樹木が成長し、木材として活用できる樹齢となりながらも、林業の衰退により国産の木材は活用されず、伐採・植林のサイクルが進まないため、山林の機能は衰退し、土砂崩れや地盤の保水力の低下による水害の一因ともなっています。

また、建材としての木材が、維持管理が可能(サステイナブル)な材料として世界的にも注目され、世界中で、木造の大規模建築物の建造が進んでいます。日本は、昔から社寺仏閣や城郭建築など大型の木造建築が活用され、いわば木造の先進国としての注目も集まっています。

元来、木造住宅などで木造建築の技術を保有してきた工務店や大工をはじめとする職人は、木造施設などの技術の担い手として、新しい役割を担っています。また、住宅着工戸数が減少を続ける中、新しい市場を求めている建設業のニーズとしても注目されています。

「地域の建物を、地域の材料を使って、地域の工務店と職人が造り、地域の風景を造る」  
「鉄やコンクリートなどの燃やしてできた建材から、  
CO2を吸収して出来た、燃やさない建材、木材を活用する」  
「地域の山林と林業を活性化し、地域経済の活性化、国土保全、温暖化防止対策の実現へ」  
など、様々なテーマで木造建築の普及を目指していきます。

環境だけでなく、安全や、経済の活性化の効果からも注目される木造建築ですが、京都府では民需の事例も多く、地産木材活用の補助金制度も早くから充実しています。

京都府内での活用事例やそこに使用された大型木造建築の技術を、他府県の工務店に対し公開、支援を行い、木造建築の普及啓蒙を行っています。

支援業務の主な特長は以下の通りです。

- ① 地域工務店が非住宅木造を受注、設計、積算、工事監理を行う為のノウハウを、京都府内の事例に基づいて支援。
- ② 各地で、実際に地産材が活用できる為の、地産材活用の為の流通の構築の支援
- ③ 木造ビルや木造施設建築の為の技術の提供、支援。
- ④ 他府県の行政や各府県の建設・木材・林業関係者への講演や普及啓蒙を行う。

現在、東京都、神奈川県、滋賀県、大阪府、奈良県、岡山県の8つの工務店、設計事務所に技術支援を行い、大阪府、滋賀県の建築士団体、木材・林業団体をはじめ、各地で講演をおこなっています。

<当案内に対するお問い合わせ>

株式会社リヴ

〒617-0002 京都府向日市寺戸町七ノ坪141

TEL: 075-924-0211 FAX: 075-924-0212

担当 伊藤・市川 Mail: liv\_design\_office@yahoo.co.jp